



GROOVEBOX MC-707

取扱説明書

📖 取扱説明書 (本書)

最初に読んでください。使いかたの基本操作を説明しています。

📖 PDF マニュアル (Web からダウンロード)

• リファレンス・マニュアル

本機のすべてのパラメーターについて解説しています。

📖 PDF マニュアルの入手方法

1. パソコンなどで下記の URL を入力します。

<http://roland.cm/om>



2. 製品名「MC-707」を選んでください。

本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に『安全上のご注意』と『使用上のご注意』（『安全上のご注意』チラシと取扱説明書（P.2））をよくご覧ください。

お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

© 2019 Roland Corporation

安全上のご注意

⚠ 警告

付属の AC アダプターを AC100V で使用する

AC アダプターは、必ず付属のものを、AC100V の電源で使用してください。



⚠ 注意

小さな部品はお子様の手の届かないところに置く

下記の部品はお子様が悪く誤って飲み込んだりすることのないよう手の届かないところへ保管してください。



取りはずしが可能な部品

- ・ SD カード・プロテクター (P.12)
- ・ ネジ (P.12)

使用上のご注意

設置について

- ・ 設置条件（設置面の材質、温度など）によっては、本機のゴム足が設置した台などの表面を変色または変質させることがあります。

修理について

- ・ 修理を依頼されるときは、事前に記憶内容をバックアップするか、メモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払っておりますが、メモリー部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- ・ 当社では、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打切後 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎたあとでも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店、またはローランドお客様相談センターにご相談ください。

その他の注意について

- ・ 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はバックアップしておいてください。
- ・ 失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- ・ ディスプレイを強く押したり、叩いたりしないでください。
- ・ ご使用の年月とともに、パッドのゴム表面が変色することがありますが、使用上影響はありません。
- ・ 抵抗入りの接続ケーブルは使用しないでください。

外部メモリーの取り扱い

- ・ 外部メモリーを使うときは、次の点に注意してください。
 - ・ 読み込み中や書き込み中には取りはずさない。
 - ・ 静電気による破損を防ぐため、取り扱う前に身体に帯電している静電気を放電しておく。
 - ・ 端子部は手や金属で触れたり、汚したりしない。
 - ・ 曲げたり、落したり、強い衝撃を与えたりしない。
 - ・ 直射日光の当たる場所や、閉め切った自動車の中などに放置しない。
 - ・ 水に濡らさない。
 - ・ 分解や改造をしない。

知的財産権について

- ・ 第三者の著作物（音楽作品、映像作品、放送、実演、その他）の一部または全部を、権利者に無断で録音、録画、複製あるいは改変し、配布、販売、貸与、上演、放送などを行うことは法律で禁じられています。
- ・ 第三者の著作権を侵害する恐れのある用途に、本製品を使用しないでください。お客様が本製品を用いて他者の著作権を侵害しても、当社は一切責任を負いません。
- ・ 製品に内蔵、付属されたコンテンツ（音色波形データ、スタイル・データ、伴奏パターン、フレーズ・データ、オーディオ・ループ、画像データなど）の著作権は当社が保有しています。
- ・ 製品に内蔵、付属されたコンテンツ（ただしデモ曲などの楽曲データは除く）を素材として、お客様が新たな作品を制作、演奏、録音、配布をするに関しては、当社の許諾を必要としません。

- ・ 製品に内蔵、付属されたコンテンツを、そのまま、もしくは酷似した形態で取り出し、別の記録媒体に固定して配布したり、コンピューター・ネットワークを通じて公開したりすることはできません。

- ・ SD ロゴ  および SDHC ロゴ  は SD-3C, LLC の商標です。

- ・ ASIO は、Steinberg Media Technologies GmbH の商標およびソフトウェアです。

- ・ 本製品には、イーソル株式会社のソフトウェアプラットフォーム「eParts™」が搭載されています。

- ・ 本製品は、T-Engine フォーラム (www.tron.org) の T-License 2.0 に基づき μ T-Kernel ソースコードを利用しています。

- ・ Roland、AIRA は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。

- ・ 文中記載の会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。

目次

安全上のご注意.....	2
使用上のご注意.....	2
主な仕様.....	3
各部の名称とはたらき.....	4
◇ トップ・パネル.....	4
◇ リア・パネル（機器の接続）.....	6
はじめに.....	7
◇ 電源を入れる.....	7
電源を切る.....	7
◇ 基本操作.....	7
カーソルの移動.....	7
決定／実行.....	7
保存.....	7
MC-707 の概要.....	8
◇ トラックとは?.....	9
◇ クリップとは?.....	9
◇ プロジェクトとは?.....	9
◇ ブラウザーとは?.....	9
◇ Master FX 設定.....	9
◇ ユーザー・サンプル（USER SAMPLE）.....	9

演奏／制作する.....	10
◇ プロジェクトを読み込む／再生する.....	10
クリップを変更する（CLIP モード）.....	10
◇ トーン／ドラム・キットを選ぶ.....	10
◇ SD カードからクリップを取り込む.....	10
◇ パッドで演奏する（NOTE モード／CHORD モード）.....	11
パッドの演奏を記録する.....	11
◇ ルーパー・トラックに録音する.....	11
◇ ステップ・シーケンサーについて.....	11
各種設定をする.....	12
◇ 設定を変更する.....	12
◇ 工場出荷時の設定に戻す（ファクトリー・リセット）.....	12
◇ 新しい SD カードを使用する.....	12

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

主な仕様

ローランド MC-707 : グループボックス

電源	AC アダプター
消費電流	2,000mA
外形寸法	425（幅）× 263（奥行）× 58（高さ）mm
質量	2.1kg
付属品	AC アダプター 取扱説明書 安全上のご注意チラシ 保証書 ローランド ユーザー登録カード

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

3 パッド・セクション

ステップ [1] ~ [16] ボタン

編集するステップの選択などに使用します。
パッド・モードや設定により動作や表示が変化します。

パッド (16個)

選んだパッド・モードによって、パッドの動作が変わります。

PAD MODE [MUTE] ボタン

パッドを MUTE モードに切り替えます。MUTE モードでは、トラックのミュート、クリップの停止ができます。

[SHIFT] ボタンを押しながら PAD MODE [MUTE] ボタンを押すと、パッドが CUE モードに切り替わります。CUE モードでは、選択中のトラックのみ PHONES 端子から出力されるようになります。

PAD MODE [CLIP] ボタン

パッドを CLIP モードに切り替えます (P.10)。CLIP モードでは、再生や編集するクリップを選びます。

[SHIFT] ボタンを押しながら PAD MODE [CLIP] ボタンを押すと、クリップに関連した設定ができます。

PAD MODE [NOTE] ボタン

パッドを NOTE モードに切り替えます (P.11)。NOTE モードでは、点灯しているパッドで鍵盤のように演奏できるようになります。

[SHIFT] ボタンを押しながら PAD MODE [NOTE] ボタンを押すと、NOTE モードに関連した設定ができます。

PAD MODE [CHORD] ボタン

パッドを CHORD モードに切り替えます (P.11)。CHORD モードでは、1 つのパッドで和音を演奏できます。

[SHIFT] ボタンを押しながら PAD MODE [CHORD] ボタンを押すと、CHORD モードに関連した設定ができます。

PAD MODE [SCATTER] ボタン

パッドを SCATTER モードに切り替えます。SCATTER モードは、ビートに同期するエフェクトです。再生音にデジタルなグルーブを与えることができます。

[SHIFT] ボタンを押しながら PAD MODE [SCATTER] ボタンを押すと、スキャッターの設定ができます。

➡ 詳しくは、『リファレンス・マニュアル』(PDF) をご覧ください。

4 マスター・エフェクト・セクション

[REVERB] [DELAY] [MULTI] ボタン

[FX PRM] [FX DEPTH] つまみの機能を切り替えます。

[SHIFT] ボタンを押しながらこれらのボタンを押すと、マスター・エフェクトの編集ができます。

[ON] ボタン

マスター・エフェクトをオン/オフします。

[FX PRM] [FX DEPTH] つまみ

エフェクトのかかり具合を調節します。

5 共通セクション 2

ディスプレイ

操作に応じて、必要な情報が表示されます。

[C1] ~ [C4] つまみ

操作に応じて、必要な機能が割り当てられます。

[SOUND] ボタン

サウンド・ブラウザー画面が表示されます。

[SHIFT] ボタンを押しながら [SOUND] ボタンを押すと、サウンドの設定画面が表示されます。

➡ 詳しくは、『リファレンス・マニュアル』(PDF) をご覧ください。

[CLIP] ボタン

クリップ・ブラウザー画面が表示されます。

[SHIFT] ボタンを押しながら [CLIP] ボタンを押すと、クリップの設定画面が表示されます。

➡ 詳しくは、『リファレンス・マニュアル』(PDF) をご覧ください。

[KNOB ASSIGN] ボタン

KNOB ASSIGN 画面が表示されます。

[SHIFT] ボタンを押しながら [KNOB ASSIGN] ボタンを押すと、UTILITY 画面が表示されます。

➡ 詳しくは、『リファレンス・マニュアル』(PDF) をご覧ください。

[FUNC] ボタン

ファンクション画面が表示されます。

[SHIFT] ボタンを押しながら [FUNC] ボタンを押すと、保存画面が表示されます。

➡ 詳しくは、『リファレンス・マニュアル』(PDF) をご覧ください。

[TEMPO] ボタン

[VALUE] つまみと連動して、テンポを設定します。

[SHIFT] ボタンを押しながら [TEMPO] ボタンを押すと、TEMPO 設定画面が表示されます。

[INPUT] ボタン

[VALUE] つまみと連動して、EXT IN 端子からの入力音量を設定することができます。

[SHIFT] ボタンを押しながら [INPUT] ボタンを押すと、インプット設定画面が表示されます。

➡ 詳しくは、『リファレンス・マニュアル』(PDF) をご覧ください。

[EXIT] ボタン

元の画面に戻ります。

画面によっては、実行中の機能を中断します。

[ENTER] ボタン

値の確定や操作を実行します。

[SHIFT] ボタンを押しながら [ENTER] ボタンを押すと、タップ・テンポとして動作させることができます。

[VALUE] ダイアル

[TEMPO] ボタンが点灯している場合、BPM の値を変更します。または、INPUT ボタンが点灯している場合は、EXT IN 端子の入力音量を設定します。

[TEMPO] ボタン、または [INPUT] ボタンが消灯しているときは、値の変更や画面のスクロールなどに使用します。動作は画面の表示により変化します。

カーソル [↵] [V] [←] [→] ボタン

カーソル位置が上下左右に移動します。

または、画面を切り替えます。

リア・パネル (機器の接続)

※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞リ、すべての機器の電源を切ってください。

**A DC IN 端子**

付属の AC アダプターを接続します。

※ AC アダプターのコードは、図のようにコード・フックを使って固定してください。誤ってコードを引っ張ってしまっても、プラグが抜けて電源が切れてしまうことや、端子に無理な力がかかることを防ぐことができます。

B [POWER] スイッチ

電源をオン/オフします。

C USB 端子

市販の USB2.0 ケーブル (B タイプ) でパソコンに接続します。USB MIDI と USB オーディオの情報をやりとりすることができます。パソコンに接続するには USB ドライバーをインストールする必要があります。USB ドライバーは、ローランドのホームページからダウンロードしてください。詳しくは、ダウンロードしたファイルにある Readme.htm をご覧ください。

→ <https://www.roland.com/jp/support/>

D MIDI 端子

外部 MIDI 機器と接続して、MIDI メッセージを送受信します。

E SD カード・スロット

工場出荷時は、付属の SD カードを挿入した状態で SD カード・プロテクターが固定されています。SD カードを取り出す場合は、ネジをはずしてください。

SD カードには、本機の各種データ (設定、音色、サンプルなど) が保存されます。

※ 画面に「Executing」と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、SD カードを抜いたりしないでください。

※ メモリー・カードのメーカーや種類によっては、本機で正しく録音や再生ができないことがあります。

F EXT IN

オーディオ入力端子です。

EXT IN L/MONO、R 端子

ダイナミック・マイクや楽器などを接続します。

マイクは L/MONO 端子に接続します。

[MIC/LINE] スイッチ

接続する機器に合わせて切り替えます。

L/MONO 端子のゲインを切り替えます。

EXT IN 端子 ([MIC/LINE] スイッチが MIC のとき) のピン配置

**G SEND (L、R) 端子 / RETURN (L、R) 端子**

外部エフェクターを接続し、トラックのエフェクトやマスターエフェクトとして使用できます。

H ASSIGNABLE OUT 端子

指定したトラックを ASSIGNABLE OUT 端子から出力することができます。

I MIX OUT (L/MONO、R) 端子

オーディオ信号の出力端子です。アンプやモニター・スピーカーに接続します。

モノで出力するときは、L/MONO 端子に接続してください。

J PHONES 端子

ヘッドホンに接続します。

はじめに

電源を入れる

※ 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

1. MC-707 → 接続した機器の順番で、電源を入れます。
2. 接続している機器の電源を入れて、音量を適当な位置まで上げます。

電源を切る

1. 接続した機器 → MC-707 の順番で、電源を切ります。

基本操作

MC-707 の基本的な操作方法について説明します。



カーソルの移動

カーソル [A] [V] [<] [>] ボタン

カーソル位置が上下左右に移動します。または、画面を切り替えます。

決定／実行

[ENTER] ボタン

値の確定や操作の実行に使用します。

[EXIT] ボタン

画面を抜けたり、操作を途中で止めたりするときに使用します。

保存

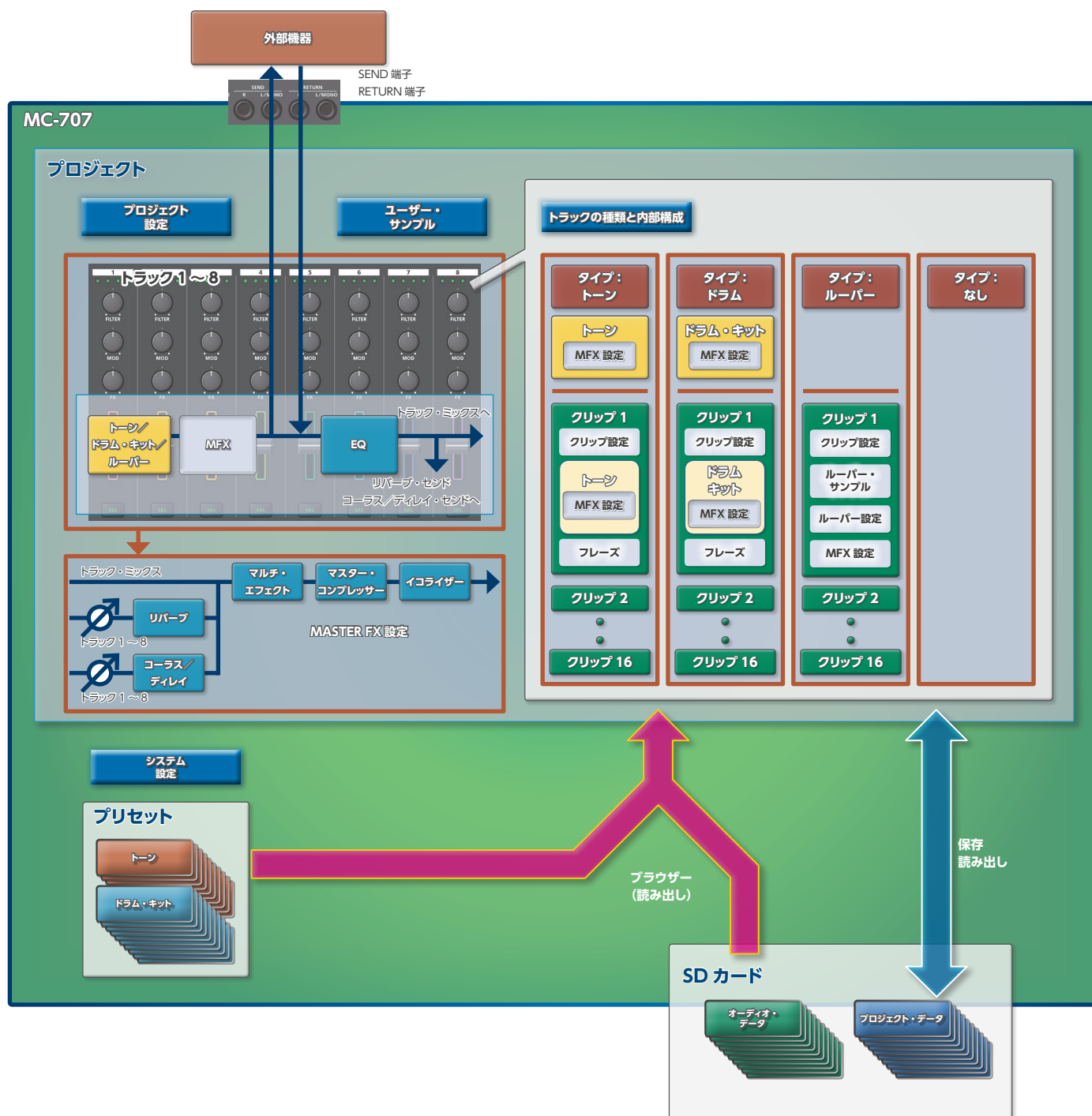
[SHIFT] ボタン + [FUNC] ボタン

[SHIFT] ボタンを押しながら [FUNC] ボタンを押すと、WRITE MENU 画面が表示され、保存操作をすることができます。

MC-707 の概要

MC-707 は最大 8 個までの独立したトラックを同時に演奏することができます。

また、それぞれのトラックには最大 16 個までのクリップを設定することができ、これらのクリップを切り替えて演奏することができます。



トラックとは？

トラックには 3 種類のタイプがあります。

- トーン：** 主に音階のあるクリップを扱うトラックです。
- ドラム：** ドラムやパーカッションのクリップを扱うトラックです。
- ルーパー：** オーディオ・ループを扱うトラックです。SD カードからオーディオ・データをインポートしたり、EXT IN 端子からの入力やトラックの音を録音したりして再生できます。タイム・ストレッチに対応しています。

クリップとは？

各トラックで演奏するための情報の集まりを、「**クリップ**」と呼びます。トラックのタイプにより、含まれる情報は異なります。

トラック・タイプ：トーン

- クリップ設定：** クリップの名前、クリップに関する情報や設定です。
- トーン：** 音色の設定です。エフェクト (MFX) の設定も含まれます。^(*)
- フレーズ：** 演奏情報や音色の変化情報 (MOTION) です。

トラック・タイプ：ドラム

- クリップ設定：** クリップの名前、クリップに関する情報や設定です。
- ドラム・キット：** 音色の設定です。エフェクト (MFX) の設定も含まれます。^(*)
- フレーズ：** 演奏情報や音色の変化情報 (MOTION) です。

トラック・タイプ：ルーパー

- クリップ設定：** クリップの名前、クリップに関する情報や設定です。
- ルーパー・サンプル：** ルーパーで再生するオーディオ・データです。
- ルーパー設定：** ルーパー・サンプルの再生方法の設定です。
- MFX：** エフェクト (MFX) の設定です。
- フレーズ：** 音色の変化情報 (MOTION) です。

* 1 クリップではなくトラックの設定を使用することもできます。

プロジェクトとは？

MC-707 では、1 曲のデータを「**プロジェクト**」という単位で管理します。プロジェクトは SD カードに保存します。

プロジェクトの中には、トラック、クリップ、トーンのデータ、使用するサンプルのデータなどが含まれます。

エディットした内容を残したいときは、プロジェクトを保存してください。

ブラウザーとは？

作業中のプロジェクトに必要な素材を選んで使用することができます。

プリセット・トーン／ドラム・キットを選ぶ

プリセットされているトーンやドラム・キットをブラウズし、使用することができます。

SD カード上のプロジェクトから選ぶ

クリップ、トーン、ドラム・キットをブラウズし、使用することができます。

SD カード上のオーディオ・ファイルから選ぶ

ルーパー・トラックで再生するルーパー・サンプルとして使用することができます。

または、トーンやドラム・キットのユーザー・サンプルとして使用することができます。

Master FX 設定

MC-707 は 5 つのマスター・エフェクトを搭載しています。

これらのエフェクトの設定はプロジェクトに保存されます。

- **リバーブ (Reverb)**
音に残響を加えます。
- **コーラス／ディレイ (Chorus/Delay)**
音に広がりや厚みを持たせたり (コーラス)、山びこのように音を遅らせたり (ディレイ) します。
- **マスター・コンプレッサー (Master Compressor)**
マスター出力の大きな音の部分を圧縮して、音量のばらつきを小さくします。
- **マルチ・エフェクト (Multi FX)**
フィルターやオーバードライブなど、さまざまなエフェクトの中から 1 つを選んで使用することができます。
- **イコライザー (Equalizer)**
3 バンド (低域／中域／高域) のイコライザーです。

ユーザー・サンプル (USER SAMPLE)

トーン、ドラム・キットで使用するユーザー・サンプルです。

演奏／制作する

プロジェクトを読み込む／再生する

MC-707では、1曲のデータをプロジェクトという単位で管理します。プロジェクトはSDカードに保存されます。



1. [PROJECT] ボタンを押します。
2. [LOAD] を選びます。
3. プロジェクトを読み込みます。
4. [START/STOP] ボタンを押します。

プロジェクトが再生されます。

クリップを変更する (CLIP モード)



1. PAD MODE [CLIP] ボタンを押します。
パッドが CLIP モードになります。
パッドで再生するクリップを選ぶことができます。
2. パッドを押してクリップを選びます。
クリップが変更されます。

トーン／ドラム・キットを選ぶ



1. PAD MODE [CLIP] ボタンを押します。
パッドが CLIP モードに設定されます。
2. パッドを押して、トーン／ドラム・キットを変更したいクリップを選びます。
選んだクリップが編集できるようになります。
3. [SOUND] ボタンを押します。
サウンド・ブラウザー画面が表示されます。

メモ

トラックにもトーン／ドラムキットを設定し、使用することができます。

4. 画面の指示に従って、トーン／ドラム・キットを選びます。

SD カードからクリップを取り込む



1. 再生を停止します。
[START/STOP] ボタンが点滅していることを確認します。
[START/STOP] ボタンが点灯している場合は、[START/STOP] ボタンを押して再生を停止させます。
2. PAD MODE [CLIP] ボタンを押します。
パッドが CLIP モードになります。
3. パッドを押して、取り込み先の空のクリップを選びます。
4. [CLIP] ボタンを押します。
クリップ・ブラウザー画面が表示されます。
5. クリップを選びます。
クリップが取り込まれます。

パッドで演奏する (NOTE モード／CHORD モード)

パッドの NOTE モード、CHORD モードを使用すると、点灯しているパッドで演奏できます。



1. 演奏したいトラックの [SEL] ボタンを押します。
2. PAD MODE [NOTE] ボタンを押します。
パッドが NOTE モードになり、パッドを押すと演奏できます。
3. PAD MODE [CHORD] ボタンを押します。
パッドが CHORD モードになり、1 つのパッドで和音の演奏ができます。
[SHIFT] ボタンを押しながら PAD MODE [CHORD] ボタンを押すと、各 PAD にコードの構成音を設定できます。

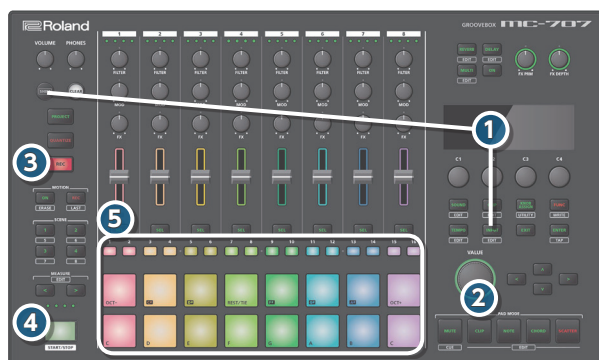
パッドの演奏を記録する



1. [REC] ボタンを押して、点灯させます。
2. PAD MODE [CLIP] ボタンを押します。
パッドが CLIP モードになります。
3. 演奏を記録する対象のクリップを選びます。
トーンかドラムに設定されたトラックのクリップを選びます。
4. PAD MODE [NOTE] ボタンを押します。
パッドが NOTE モードになり、パッドを押すと演奏できます。
5. [START/STOP] ボタンを押して、再生します。
6. 演奏を記録します。
演奏した内容が、選んだクリップに記録されます。

ルーパー・トラックに録音する

EXT IN からの入力や、MC-707 のマスターやトラックの音声を録音し、ルーパー・トラックのクリップとして使用することができます。



1. [SHIFT] ボタンを押しながら [INPUT] ボタンを押して、画面に従って録音ソースと録音時間を設定します。
2. PAD MODE [CLIP] ボタンを押します。
パッドが CLIP モードになります。
3. [REC] ボタンを押して、点灯させます。
4. [START/STOP] ボタンを押して、再生します。
5. 空クリップのパッドを押して、録音を開始します。
録音できるのはルーパー・トラックの空のクリップのみです。

メモ

空のクリップがないときは、クリップのどれかを削除するか、新たに LOOPER トラックを追加してから録音します。

ステップ・シーケンサーについて

クリップに含まれるフレーズ・データは、ステップ・シーケンサーによってトラックごとに再生されます。

パッド・モードを [NOTE] に設定すると、ステップ [1] ～ [16] ボタンで、ステップごとに発音される内容を確認／編集できます。

TONE トラックでは、ステップを選ぶとステップに記録された音階がパッドに表示されます。

DRUM トラックでは、パッドを押すとそのパッドがどのタイミングで発音するか、ステップ [1] ～ [16] ボタンに表示されます。

各種設定をする

設定を変更する

本体の設定を変更します。

1. **[SHIFT] ボタンを押しながら [KNOB ASSIGN] ボタンを押します。**

UTILITY 画面が表示されます。

2. **画面を確認し、実行します。**

➡ 詳しくは、『リファレンス・マニュアル』(PDF)をご覧ください。

工場出荷時の設定に戻す (ファクトリー・リセット)

本体の設定を工場出荷時の設定に戻すことができます。



1. **[SHIFT] ボタンを押しながら [KNOB ASSIGN] ボタンを押します。**

UTILITY 画面が表示されます。

2. **カーソル・ボタンで [FACTORY RESET] を選びます。**

3. **[ENTER] ボタンを押します。**

確認のメッセージが表示されます。

4. **画面を確認し、実行します。**

※ SD カードの内容は、ファクトリー・リセットで工場出荷時に戻りません。工場出荷時の SD カードの情報について詳しくは、以下の URL をご覧ください。

➡ <https://www.roland.com/jp/support/>

※ MC-707 付属の SD カードの内容をバックアップする場合は、パソコンを使い他のメディアへ保存しておいてください。

新しい SD カードを使用する

新しい SD カードを使うときは、MC-707 でフォーマットします。



1. **SD カード・プロテクター (リア・パネル) のネジをはずします。**

SD カード・プロテクターはネジ止めされています。カード・プロテクターをはずすときは、プラス・ドライバーでネジを取りはずしてください。



2. **SD カードを交換します。**

必要に応じて SD カード・プロテクターを取り付けます。

※ 画面に「Executing」と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、SD カードを抜いたりしないでください。

3. **[SHIFT] ボタンを押しながら、[KNOB ASSIGN] ボタンを押します。**

UTILITY 画面が表示されます。

4. **カーソル・ボタンで [FORMAT SD CARD] を選びます。**

5. **[ENTER] ボタンを押します。**

確認のメッセージが表示されます。

6. **画面を確認し、実行します。**